

新年度に向けて

宮城海上保安部長
木下 秀樹



海上安全サポーターの皆様におかれましては、平素より海上保安業務、特に海難防止啓発に係る業務に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和5年の宮城県内における海難発生状況は、マリネレジャーに伴う海浜事故が、前年比8人減の2人と大幅に減少し、過去10年においても最少、死者・行方不明者は、平成23年以来12年ぶりにゼロとなりました。

これもひとえに、宮城県の海を安全にしたいとの思いでご尽力いただいている海上安全サポーターの皆様の安全啓発活動の賜物であり、重ねて御礼申し上げます。

しかしながら、プレジャーボート海難は凡そ例年並みに発生していることも事実です。

宮城県内でこれ以上海難を起こさせないためには、広く県民の方々に対して海難防止の意識の高揚を図っていくことが、安心・安全な宮城県の海づくりに必要不可欠でございますので、今後も皆様と一緒に、より効果的、積極的に活動ができればと考えております。

今後とも当部への変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年度に向けた挨拶とさせていただきます。

海上安全指導員等合同連絡会

初めての開催

2月16日(金)、塩釜港湾合同庁舎大会議室において、関係者29名の方々に参加いただき、海上安全指導員、海上安全サポーターとマリネレジャー安全活動団体による合同連絡会を初めて開催しました。海上安全サポーターからは、谷田圭さんとCARAV@N(菅原

琢真さん、一戸海凜さん、伊藤匠人さん)の皆様にご出席いただき、普段の活動状況をご紹介いただいたほか、海上安全指導員やマリネレジャー安全活動団体の皆様にも活動状況を発表いただき、情報交換や意見交換等が活発に行われました。

今回の連絡会を契機に、サポーター、安全指導員、安全活動団体の連携により、より効果的な安全啓発活動に繋がればと願っております。



〔活動状況を発表する谷田さん〕



CARAV@N

伊藤さん 一戸さん 菅原さん

巡視船ざおう 見学会

海上安全指導員等合同連絡会の終了後、巡視船ざおう見学会を開催しました。海上保安庁の歴史や宮城海上保安部の主要業務などの説明を受けていただいたあと、船橋、オペレーション室やヘリ格納庫など船内を見学していただきました。海上保安庁のことをより深く知っていただければ幸いです。



〔ヘリ甲板上で記念写真〕



〔船橋の見学状況〕

「巡視船ざおう」のこと 教えて！うみまる

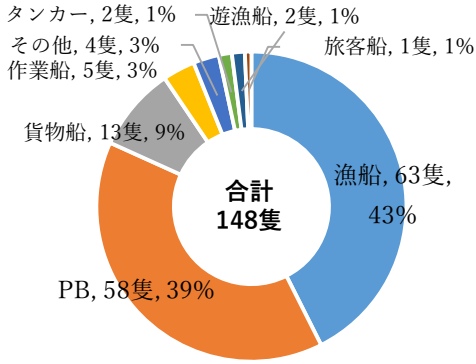
巡視船「ざおう」は、昭和57年に宮城海上保安部に配属されたヘリコプター機搭載型巡視船だよ。東北の名峰、蔵王連峰にちなんで名づけられたんだ。

総トン数は約3,100トン、全長は約105mで、東北に配属されている巡視船のなかでは最大なんだ。

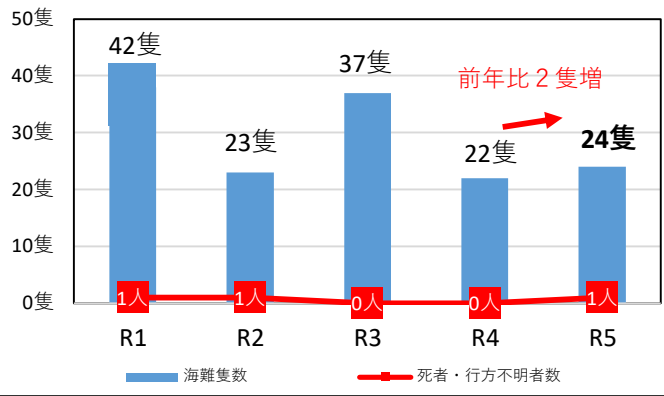
船首に「PLH」と描かれているんだけど、これは Patrol vessel Large with Helicopter の略なんだよ。



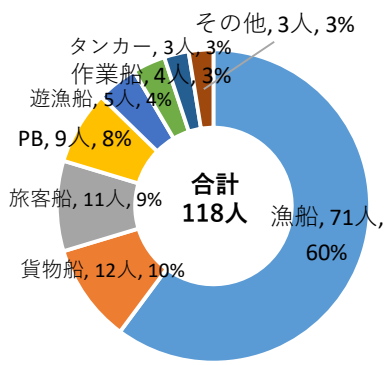
〔船舶海難の船種別割合 (過去5年間)〕



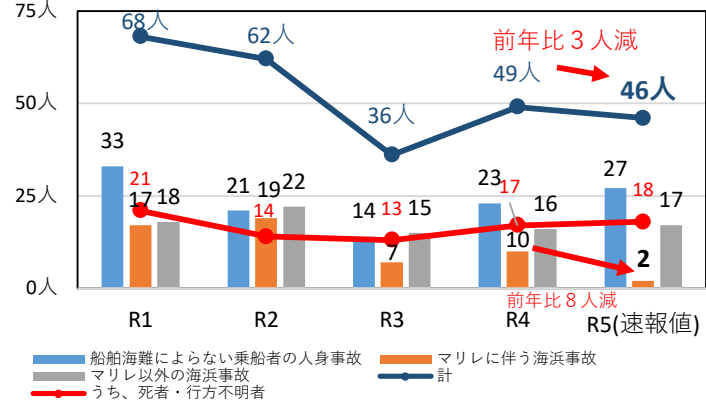
〔船舶海難の推移〕



〔乗船者の人身事故の船舶種類別の割合 (過去5年間)〕

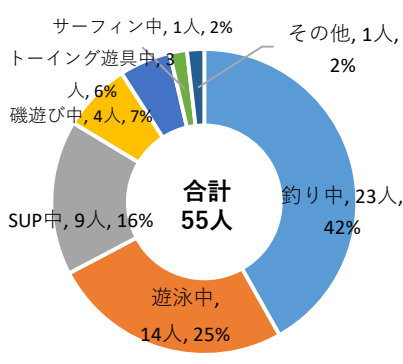


〔人身海難の推移〕

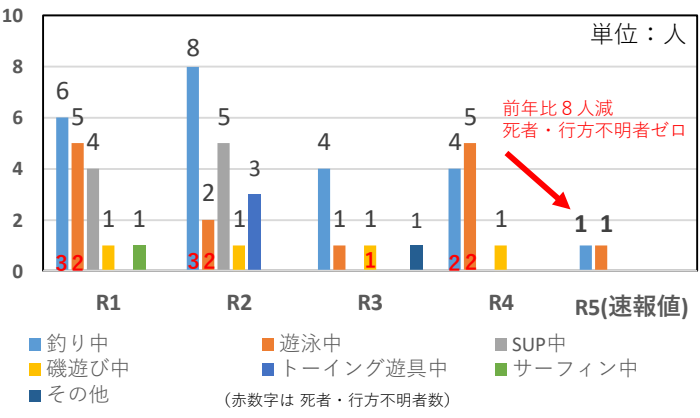


マリレレジャーに伴う海浜事故が大きく減少！
令和5年宮城県海難発生状況(速報値)

〔マリレレジャーに伴う海浜事故種類別の割合 (過去5年間)〕



〔マリレレジャーに伴う海浜事故の推移〕



◎今後の取り組み
船舶海難は、プレジャーボート及び漁船によるものがほとんどであり、運航不能や乗揚げが大半を占めることから、関係機関・団体と連携し、常時、適切な見張りの励行や整備業者等による定期的な点検整備等と呼びかけていきます。

船舶海難によらない乗船者の人身事故は、漁船乗船者の事故が突出して多い状況から、漁業関係者に対する船上作業の安全意識の高揚・啓発に努めていきます。

マリレレジャーに伴う海浜事故は、釣り中や遊泳中の事故が未だ多くを占めることから、マリレレジャー愛好者に対して、マナーやモラルの向上、海上安全思想の普及のための呼びかけを継続していきます。

◎船舶海難の傾向
船舶海難は24隻で前年より2隻増、死者・行方不明者は1人となりました。

船種別で見ると、プレジャーボートが12隻で全体の50%、漁船が10隻で42%と、プレジャーボートと漁船が船舶海難の約9割を占めます。

◎人身海難の傾向
人身海難は46人で前年より3人減、うち死者・行方不明者は18人で前年より1人増となりました。

〔船舶海難によらない乗船者の人身事故〕
船舶種類別にみると、漁船乗船者の事故が突出して多く、過去5年間で71人(60%)を占めます。

〔マリレレジャーに伴う海浜事故〕
前年比8人減の2人と大幅に減少し、過去10年において最少でした。うち死者・行方不明者も平成23年以来、12年ぶりにゼロとなりました。